

2023年3月29日(水)第五水曜祈祷会

マルコの福音書13章1～13節

「希望に生きる」

【観察と黙想】 * イエスさまの預言には二つの意味があった。

1. エルサレム神殿の滅亡(13章1～4節)

①ヘロデ大王によって修復・拡張された神殿はどのようなものでしたか。

→

②イエスさまは預言にはどんな意味がありましたか。

→

③ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレはイエスさまにどんな質問をしましたか。

→

2. 終わりの日のしるしについて(13章5～8節) * まず終わりの日の四つのしるしに言及された。

①終わりの日のしるしとして、まず何を言われましたか。

→

②終わりの日のしるしとして、二つ目に何を言われましたか。

→

③終わりの日のしるしとして、三つ目と四つ目に何を言われましたか。

→

3. 終わりの日の苦難について(13章9～12節) * 神の救いの日が来る直前は苦難の時である。

①終わりの日の苦難について、何と言われましたか(9、12節)。

→

②迫害(裁判)は弟子たちにとってどんな機会となりましたか。

→

③イエスさまはなぜ「心配するのはやめなさい」と言われたのですか。

→

4. 終わりの日の希望について(13章9～12節) * 私たちはすでに終わりの時代に生きている。

①イエスさまは終わりの日の希望について、何と言われましたか。

→

②「救われる」とはどういうことですか。

→

【適用と分かち合い】

①終わりの日のあなたの希望は何ですか。

②終わりの日におけるあなたの使命(役割)は何ですか。